

野鳥と私

植田啓介

布施新町に住みはじめた頃、周辺に野鳥が沢山いることに気がつきました。それまでは野鳥にはあまり縁のない街中に住み、会社の業務に追われ、まったく気持ちにゆとりのない生活をしてきたせいも、退職後にやっと周りに野鳥、草木等々多くの自然が残っていることに気づいた次第です。

その後、町内会でご一緒した橋本さんに、ハクセキレイについて話を聞いたことがきっかけで、探鳥会に誘っていただき参加したところ、知識・経験豊富な会員の方々にいろいろと教えて頂いたこともあり、野鳥への関心が高まってきました。

もともとあちこち歩きまわることが大好きだったので、探鳥会には度々参加しています。近辺では出てくる鳥種や草木の様子から季節の変化を感じながら歩き、遠出しては近辺では会えない変わった鳥、珍しい鳥の生態を見て感動したり、自然の中で生きている野鳥に、自然の中にいる自分を投影したり、野鳥に出会える楽しみを感じるようになりました。

ここ数年、あけぼの山周辺で出会える野鳥が減少しているように感じています。常盤さんに教えて頂いた水生植物園のルリビタキ、冬になると毎日の様に会いに出掛けましたがほぼ必ずと言っていいほど出てきました。大勢のカメラマンが詰めかけていましたが、ここ2年ほど姿が見えません。タゲリも少ないようです。日本庭園のカワセミもなかなか姿を表してくれません。あけぼの山一帯の生息環境が変わったのかも…。

先日テレビで日本アルプスのライチョウの生息数が減少しているとの報道がありました。シカやサルも稜線近くに上がってきており、高山植物に被害がでているのもその原因の一つかというようなことでした。環境が変化するのは自然の摂理でしょう。しかし変化を加速するのは人間のようなようです。そのうち探鳥は動物園でということになるかもしれません。

探鳥といってもがむしゃらに鳥を探しまわったり、餌付けして呼び寄せたりすることはしたくない。できるだけ環境保護に留意しつつ自然の状態の鳥に会いに行くという気持ちで探鳥を楽しみたいと思っています。

(注) ギャラリーの写真はおながの会の探鳥会で撮影したものです。